



江田島市

議会だより

〈元衆議院議長 故瀧尾弘吉 書〉

2007年5月1日 第10号



巣立ち

年長さん ありがとう

〈平成19年3月23日 江田島幼稚園〉

主な内容

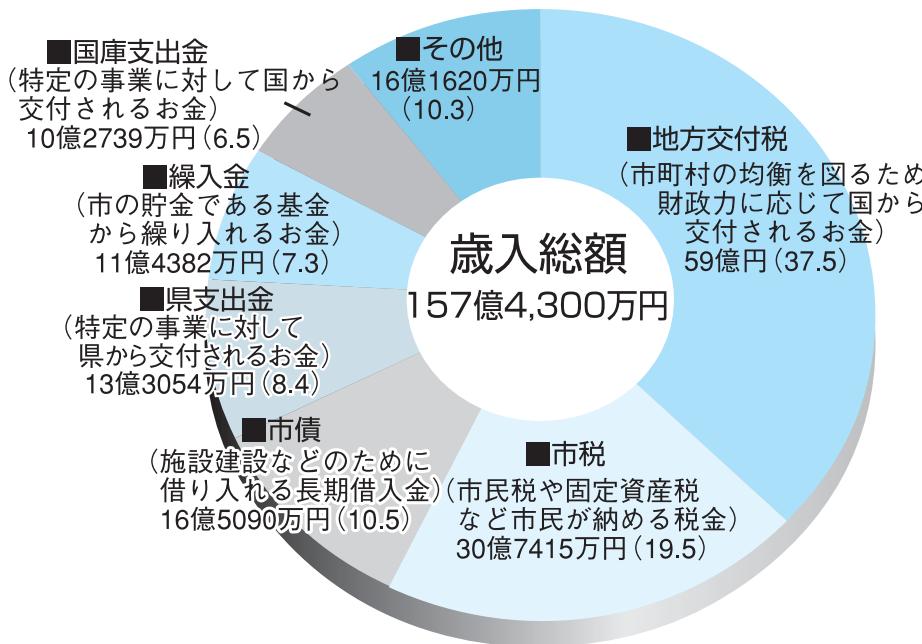
平成19年3月定例会	2~3
平成19年度予算審議	4~5
主な議案・賛否表	6~8
委員会報告	9~10
12人が一般質問	11~19
委員会研修・議会の動き	20~21

総額302億円の予算決まる！

私たちと子どもと孫です！

一般会計歳入 (入ってくるお金)

[単位：万円（%）]



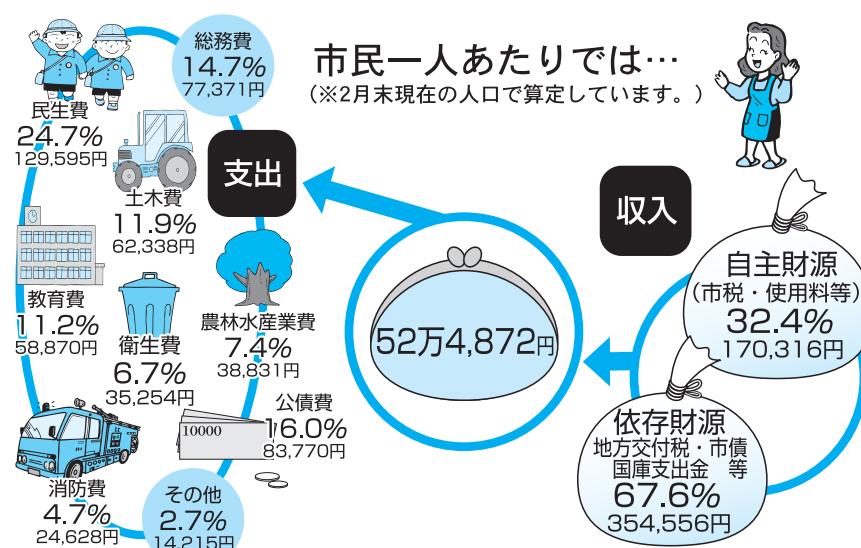
平成19年第1回江田島市議会定例会は、3月6日に招集され、30日までの25日の会期で開かれました。

平成18年度補正予算および平成19年度予算を含む議案37件、同意案3件、議員発議1件を審議し、全案可決いたしました。

項目の説明（代表的なもの）

総務費・各種計画・交通対策やコミュニティ推進など
民生費・福祉の充実など
土木費・道路、河川、都市計画の整備
教育費・学校、社会教育の充実や体育振興
公債費・借金の返済

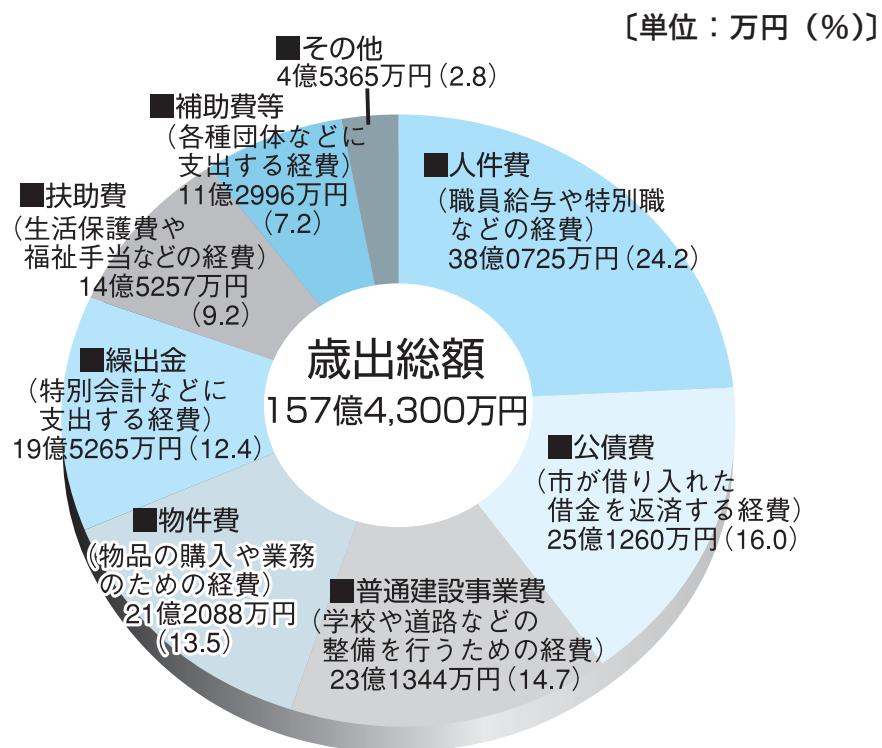
平成19年度 一般会計予算 157億4,300万円



一般会計157億円。 特別会計145億円

280億円の借金を払うのは、

一般会計歳出 (お金の使いみち)



市民一人あたりの借金は
約 932,986円



市民一人あたりの貯金は
約 130,901円

市民一人当たりの貯金・借金

参考

- 平成19年度末の見込み
市の貯金 39億2,625万円
市の借金 279億8,399万円
- 平成19年2月末の人口
29,994人 (広報えたじま 2007年第30号)

	区分	19年度末残高見込み
一般会計	一般公共事業債	42億4785万円
	一般単独事業債	41億1068万円
	公営住宅建設事業債	10億9799万円
	義務教育施設整備事業債	14億1087万円
	辺地対策事業債	4億1152万円
	一般廃棄物処理事業債	8億8287万円
	過疎対策事業債	50億4070万円
	減税補てん債	7億8256万円
	臨時財政対策債	42億2824万円
	その他	5億5640万円
特別会計	小計	227億6968万円
	住宅新築資金等貸付事業債	3億0619万円
	下水道事業債	37億7389万円
	農業集落排水事業債	11億3423万円
	小計	52億1431万円
借入金 残高		279億8399万円

	区分	19年度末残高見込み
基金	財政調整基金	4億9238万円
	減債基金	3億7101万円
	その他特定目的基金	30億6286万円
基 金 残 高		39億2625万円

江田島市の借金と貯金

チェック



▲大君久保田団地

(2) 江田島市の市有財産の運用・市が借り上げて

(1) 財政運営については、「住民福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をあげるようしなければならない」また「常に組織及び運営の合理化に努めるとともに、規模の適正化を図らなければならない」ことを最重要課題として財政計画を図るよう望む。

付帯意見

(1) 危機的な財政状況(2)市の所有している未利用の土地・家屋(3)予算書事項別明細書(4)市職員の職務状況(5)各施設の光熱水費や維持管理費についての付帯意見は次のとおりです。

(4) 市職員の配置については、適材適所に配置し特定の部課が勤務超過等のないようにし、職員の健康管理等についても十分考慮されることを望む。

(3) 予算書の作成に当たっては、議会はもとより市民が見ても理解できるよう改善されることを望む。

総務常任委員会

平成19年3月6日開催の第1回江田島市議会定例会第1日目において、予算審査特別委員会を立ち上げ委員長 上田正副議長・副議長 太刀掛隼則議員を選出し3常任委員会に付託した。

付託された3常任委員会は、3月12日から3月16日まで委員会を開催し慎重に審議した結果、原案通り可決しました。

本委員会は、3月16日委員会を開催した。担当部署は、総務部・選挙管理委員会・3支所及び消防本部です。

なお、本委員会では、

(1) 危機的な財政状況(2)市の所有している未利用の土地・家屋(3)予算書事項別明細書(4)市職員の職務状況(5)各施設の光熱水費や維持管理費についての付帯意見は次のとおりです。

(1) 危機的な財政状況(2)市の所有している未利用の土地・家屋(3)予算書事項別明細書(4)市職員の職務状況(5)各施設の光熱水費や維持管理費についての付帯意見は次のとおりです。

(単位：千円)

積立基金総額	17年度末現在高	18年度末現在見込	19年度末現在見込
	53億87,419	50億18,820	39億26,246

厳しく予算を



▲平成18年3月に閉校した沖中学校

(4) 予算審議料について、早期に委員会に配布されることがあります。

(3) 国保税等の滞納対策について、職員の英知と総力をあげて徴収に努めるとともに、法令に基づく対応をさせたい。

なお、納税者の不公平感を招きかねないの

で慎重に事務遂行を行うよう望む。

(5) 交通船事業については、江田島市の人口動態や市民の利便性、経営の安定策を検討し、中長期的な公営企業としての計画を樹立し、経営基盤の強化を望む。



▲国民宿舎能美海上ロッジ

文教厚生常任委員会

本委員会は、3月14日・15日委員会を開催した。

担当部署は、市民生活部・教育委員会及び福祉保健部です。

なお、本委員会では、(1)市が借り上げている土地の有効活用(2)統廃合された学校・建物(3)税金の滞納者・滞納金(4)予算書の配布についての付帯意見は次のとおりです。

付帯意見

(1) 江田島市が借り上げている土地について、検討を行い早急に市の対応を望む。

(2) 統廃合された学校・保育園について、建物・跡地利用等について十分な検討を行い早急に市の対応を望む。

(3) 国保税等の滞納対策について、職員の英知と総力をあげて徴収に努めるとともに、法

令に基づく対応をさせたい。

(4) 予算審議料について、早期に委員会に配布されることがあります。

産業建設常任委員会

本委員会は、3月12日・13日委員会を開催した。

担当部署は、土木建築部・産業部及び企業局です。

なお、本委員会では、(1)農業の活性化(2)水産業対策(3)下水道の加入促進(4)国民宿舎の活性化(5)交通船事業の黒字化(6)滞納対策についての付帯意見は次のとおりです。

付帯意見

(4) 国民宿舎事業については、シーサイド温泉や海上ロッジの利用客増を図るため、他の観光機関との連携・アイデア商品の開発また、経営管理に万全を期することを望む。

(5) 交通船事業については、江田島市の人口動態や市民の利便性、経営の安定策を検討し、中長期的な公営企業としての計画を樹立し、経営基盤の強化を望む。

(6) 住宅使用料の滞納対策について、職員の英知と総力をあげて検討し、対応されることを望む。

(1) 農業の振興に、担い手確保方策はもとより、安全安心な地場野菜等を生産する中小規模農家の育成・団塊世代対策・遊休農地解消の施策検討を望む。

(2) 水産業関係の補助金交付については、適正な対応をするとともに風評被害対策等については、マニュアル化を行い万全な対策を望む。

(3) 下水道事業については、加入促進を職員の英知と総力をあげて検討し、

議員提案で

議員報酬 7~5%カット

主な議案

市議会議員の報酬の特例に関する条例

採決
反対 賛成
1人 23人

市議会は、この度の定例議会で、本市の財政が厳しい状況下であることを鑑み、議員自ら提出する発議により、市議の報酬をカットする議案を出し、議員の議論を経て、賛成多数で可決しました。

職	月額	減額率	減額	減額後
議長		7%	23,700円	315,300円
副議長		7%	20,800円	277,200円
議員		5%	13,500円	256,500円

カットの期間は、平成19年4月から1年間

採決
反対 賛成
1人 24人

A 報酬審議会に審議をいただき、現在の助役の給料と同額とする答申による。

Q 副市長の給料を62万円にした根拠は。

質疑

「特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正」助役、収入役をなくして、副市長を2人にする条例制定により、副市長の給料月額を定める。

副市長 給与決まる

市特別職の給料

7~5%カット

「特別職の職員等の給与の特例に関する条例」市長、副市長及び教育長の特別職は、厳しい財政事情から給料を平成19年4月から1年間、減額します。

A 市長は7%、副市長は5%減額にした理由と、期間を1年間と切るべきではないと思うが。示して、この1年間を不退転でやる決意で期間をつけた。

採決
反対 賛成
2人 23人



▲3月定例会第2日目

A 国の税収増で本市に合併補助金として2億5千万円余りの措置があり、それを充当する。

Q 今、財政が厳しい時に何故に購入するのか。

質疑

A 平成18年度の一般会計補正予算で追加された合併推進補助金を財源として、県合同庁舎の購入費や江田島小学校の設計委託料が18年度補正予算で可決した。

採決
賛成 24人
反対 1人

A 新市庁舎の建設計画との関連はどうなるか。

Q 購入後の庁舎の活用を考えて、新市庁舎の建設のあり方を総合的に検討します。

補正予算2億円計上 県大柿合同庁舎購入に



▲県大柿合同庁舎

A 改革の一つではあるが園児の教育を考え、ある程度の規模である方が園児のためにもな

Q 廃止は行財政改革の一環か。

A 検討委員会には、保護者や保育園の方も入って審議をした。保護者からのアンケートを参考にしました。

Q 検討委員会の答申に基づき廃止するとするが、検討の途中に廃止される地域の人や保護者に説明したり意見を聞くべきで、進め方に問題がある。

「保育園条例の一部を改正する条例」
沖保育園と深江保育園が平成19年4月から、江南保育園が平成20年4月から廃園になります。

市内の3保育園がなくなる

ると判断しました。

反対討論

保育園は身近な所にあるべきで、廃止される地域は寂れる。

採決
賛成 22人
反対 2人

保育園児一人当たりにかかる費用が3～4倍も差がある現状は、不公平感がぬぐえない。延長保育や一時的保育に充実を図るべきである。

賛成討論

A 特定の人に多くの公費をつぎ込むことはできない。利用者に、応

Q 弱者に対して値上げをするのは納得できない。困った人を救済するのが行政の仕事ではないか。

A 家族に援助してもらうか預貯金等の財産で支払っていただきたい。減免は考えていない。

Q 使用料が無茶苦茶に高くなり、使用料が支払えない人はどうするのか。

「自立支援グループホーム設置及び管理条例の一部を改正する条例」
同グループホームは、開設以来使用料は据え置いており、他の施設と比べても使用料が低いので値上げをします。

分の負担増をしてもらいたい。

反対討論

低収入の人に対して負担の割合が重くなる。

自立支援グループホーム 使用料アップ

採決
賛成 15人
反対 9人

市の厳しい財政事情で値上げもやむなし。

賛成討論

(月額)	
現行使用料	改定使用料
9,000 円 ↓ 19,000 円	10,000 円 ↓ 50,000 円

平成19年4月から施行するが、経過措置として3ヶ年間で値上げする。

3月定例会 賛否表（主なもの）

議案 議員名	番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	結果	表決数	越野哲也	野崎剛睦	前田鎮夫	胡子雅信	林久光	住岡淳一	山根啓志	水口直樹	胡子勝弘	登地靖徳	浜西金満	山本一也	石下洋子	吉岡憲伸	新家勇二	鎌田哲彰	山木信勝	下河内泰	太刀掛隼則	扇谷照義	小西俊明	沖也寸志	伊藤一志	西中克弘	上田正
介護予防支援事業運営基金条例	可決	25:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成18年度一般会計補正予算（第7号）	可決	24:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	24:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員等の給与の特例に関する条例	可決	23:2	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
保育園条例の一部を改正する条例	可決	22:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
自立支援型グループホーム設置及び管理条例の一部改正	可決	15:9	●	●	●	●	○	○	○	○	○	—	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正	可決	23:1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市議会議員の報酬の特例に関する条例	可決	23:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度一般会計予算	可決	23:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度国民健康保険特別会計予算	可決	23:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度老人保健特別会計予算	可決	24:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度介護保険特別会計予算	可決	24:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度公共下水道事業特別会計予算	可決	23:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	24:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度公共下水道事業（能美地区）会計予算	可決	24:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度交通船事業会計予算	可決	22:2	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度国民宿舎事業会計予算	可決	23:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
平成19年度水道事業会計予算	可決	24:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 ●は反対 公は公務 ーは欠

おわびと訂正

前回発行の『江田島市議会だより第9号』3ページの市民サービスセンター設置条例の可決が全員賛成となっていましたが、賛成22反対1の誤りでした。
訂正しておわびいたします。



▲江田島中学校建設場所（旧小用小学校）

Q

入札とかの手法はな
いのか。

Q

入札とかの手法はな
いのか。

A

船員に周知徹底させ
ます。

A

予備エンジンの1基
はヤンマー製です。

Q

企業局長及び次長の出席を求めて交通船事業について、中間報告に基づいて、各委員から質問・意見があつたのでその概要を報告します。

Q

スーパー千鳥のエンジンを三井ドイツ製

Q

からヤンマー製に換装工事したい旨であるが、他社は考えられないか。

A

スーパー千鳥のエンジンを三井ドイツ製

Q

既に国産エンジンにやり換えた二ユーハー鳥のエンジンはどうなのか。

企業局長及び次長の出席を求めて交通船事業について、中間報告に基づいて、各委員から質問・意見があつたのでその概要を報告します。

後、各委員から質問・意見があつたのでその概要を報告します。

Q

メンテナンス、燃費も考える必要がある

Q

が今なぜするのか。
が今なぜするのか。

A

平成19年度に換装工事をすると、後々の定期検査や中間検査料が安くなり4年したら採算がとれます。

Q

エンジンが1基あり難しい。

A

検討しますが、予備エンジンが1基あります。

Q

メンテナンス、燃費も考える必要がある

A

が今なぜするのか。
が今なぜするのか。

2月13日委員会を開催しました。

【交通船事業】

企業局長及び次長の出席を求めて交通船事業について、中間報告に基づいて、各委員から質問・意見があつたのでその概要を報告します。

企業会計特別委員会

委員会 報告

血税 慎重に

【国民宿舎事業】

一部を報告します。

企業局長及び支配人等から国民宿舎事業の中間報告と平成19年11月27日・28日の両日、総務省地方公営企業経営アドバイザー派遣事業により指導を受け、国民宿舎事業経営の方や施設の経営分析等について報告を受けました。

その後、各委員から質問・意見があつたがその

Q 海上自衛隊呉史料館【てつのくじら館】が完成する。呉大和ミュージアム、海上自衛隊第1術科学校を見学して市内に泊まるユニークな施設を考えられないか。

A ロッジは老朽化していますが、レストランもあり活かしていくたい。異なるサービスの向上をおこない利用者の増加を図りたい。



▲航行中のスーパー千鳥

文教厚生常任委員会

2月22日委員会を開催しました。



▲開催された文教厚生常任委員会

【教育委員会関係】

1 児童の放課後対策の

① 江田島市介護予防自立支援事業の廃止
② 江田島市地域包括支援センターの移転について

この度の改正により一部高田止めになつた。船内放送や客室の確認を徹底してほしい。

1 江田島市障害者計画及び障害者福祉計画について
2 行財政改革プランの実施について
① 江田島市大須・幸ノ浦地区等高齢者等送迎サービス事業の廃止

3 取組みについて
4 学校統合準備の進捗状況について
3 スクールカウンセラー・学校相談員の配置について
4 年度末教育委員会関係行事について

以上の事項について、各部長以下各課長から詳しく説明を受けその内容を審議いたしました。

委員からは活発な発言と共に高齢化社会に伴い、今後も住民福祉の向上と時代を担う子供達の教育環境の整備等にも要望しました。

市民の生命・財産 守れ!

総務常任委員会

2月20日委員会を開催しました。

消防長以下担当課長から「消防団の活性化について」・「建物火災における到着遅延及びサイレン未吹鳴の調査結果とその対策について」それぞれ説明があり、全委員から質問・意見がありました。概要を報告します。

(1) 消防団の活性化について

A 江田島市においても、団員確保は厳しい状況です。団員の口コミで加入してもらっています。機能別団員制度は、大雨・台風・地震等の時だけ出動してもらう制度です。

Q 機能別団員制度は、本市も導入可能か。

A 齢化が進み、長時間の活動に対応ができないことが想定されます。

Q 非常勤消防団員の報酬ですが、団員年額26,000円は低い。

団員報酬を上げて、幹部を下げるとか考えられなか。

報酬は条例で決まります。消防団自らが、活性化検討委員会でつめたものを、団長から市長に報告し決定します。

A 報酬は条例で決まります。消防団は、昼間出動できな

いが把握されているか。

Q サラリーマン(団員)は、昼間出動できな

いが把握されています。そのう

ち約50%がサラリーマン

団員です。全国では70%であり本市もその程度だ

と思います。勤務先が島内・島外の把握はしていません。

Q 本市の女性団員は5名だが、消防庁の考

えとして、百万人中10万人です。まだ増やす必要があります。

A 今後増員したいと思つています。女性の視点は必要です。確保するよう努めます。

Q 市の職員を消防団員に採用できないか。

A 国は公務員を加入させれるよう言っています。実際に加入しています。

Q 合併した市町村はどう

しかし、市が災害対策本部を立ち上げると、そちらが主な任務となり消防団活動ができなくなります。
② 建物火災における到着遅延及びサイレン未吹鳴の調査結果とその対策について

本部を立ち上げると、そちらが主な任務となり消防団活動ができなくなります。

② 建物火災における到着遅延及びサイレン未吹

Q いつかはしなければいけない。取りあえず4波を消防本部に接続すれば放送の一元化は可能か。

Q 建物火災等の発生時、防災行政無線からサイレンが鳴らなかつたと

市民の声があるのは聞いています。消防の役割は大きい。

Q 現状の1市4波の防災行政無線の一本化はいくらかかりますか。

A 現状の1市4波の防災行政無線の今まで、一元化すると600万円かかる見込です。

また防災行政無線を高機能指令センターに導入するには約2千200万円かかる見込です。なお、指令センターには隊員2名しか配置しておらず、手がとれません。

Q 合併した市町村はどう

のか。

A 可能です。

付帯意見

①方面隊をなくして総合

は近い将来1波にしますと届出をしております。
② 活性化検討委員会の情報が下おりていません。
③ 今、防災行政無線を整備しても将来デジタル化されるので不用・無駄になると想定できるが、火事の時に市民は119番に電話します。2千万円かかっても正しく迅速に放送するため一元化すべきです。



▲林野火災防ぎよ消防大訓練

浜西 平成19年3月の江田島市総合計画では、平成26年には、2万7千人になる。7年後にマイナス3千人で、歯止めがきくのか。

市長 目標人口を達成するのは難しいが、本市の将来に夢が持てるよう、恵まれた自然、人、都市

浜西 江田島市が販売する分譲地が20区画残っているが、価格を下げるとか、分譲条件を緩和するとか考えていないのか。

市長 総務部長

との交流を最大限に活用しながら人口を減らさないよう、総合計画に基づく具体的な施策を積極的に推進します。

浜西 市の分譲地も価格が下がられないなら、固定資産税を減額するとかできないか。

市長 減額するのは、難しいが、3年内に建設しなければならないとい

浜西 総務部長

う条件を5年以内にするという条件緩和は、今後考えて行きたい。

浜西 自治会に補助金を払い、I・Jターン者の名簿表を作つてもらい販売促進に協力してもらつたらどうか。

市長 補助金を出すのは、今の段階では難しい。

浜西 市長以下、議員、職員、住民の方も一緒になり江田島市の良さをアピールして、常に一人でも増やそう、一人でも減

らさないというような、行政支援をみんなで考えて、実行していくなければならないと考える。



答 総合的な計画を推進

浜西 金満 議員

人口流出の歯止めは

3月定例会 一般質問

12人

持ち時間

60分



▲都市と地元住民の交流

国の圧力に屈しないか

山木 信勝 議員

答 反対の姿勢を貫く



不正通報条例を
制定しては

山木 市長は、米空母艦載機の岩国基地移転計画について、断固反対と表明しています。

市長 国からの交付金が多額に支給されようが、騒音公害と市民の安全はお金にはかえられない。国の圧力には、屈しない市長の強い決意を聞く。

市長 江田島市としては「岩国基地NLP移転計画反対期成同盟」の一員として、岩国基地増強計画について反対の姿勢を貫く。

交通計画の進捗状況は

越野 哲也 議員

答 積極的に施策推進を図る



企画振興課長

計画を作

けて踏み出します。

越野 市内交通網強化のための江田島市交通計画、平成19年度は実施計画策定の年となっていますが、現在の進捗状況は。

市長

平成18年度中に総合的な交通と情報の基盤づくりのため、14の戦略を定めた交通計画を策定します。市民の利便性・採算性の課題がある中、マスタートップランとして交通計画を策定し、今後は能美バスと呉市営バスの一元化、航路の再編化を進めるべく平成19年度からそれぞれの協議機関を立ち上げ、積極的に施策の推進を図ります。

越野

このような計画は

コンサルタントが作ったもので、職員が汗をかい

て作った。市民サイドに立った計画にはなっていないのではないか。

総務部長

許認可の権限

などの問題があり、一步

一步ステップを踏みなが

ら進めていきたい。

越野 ワーキング、交通検討委員会が今年度終了し、さらに新年度は審議会を立ち上げることに意味があるのか。早急にできないものか。

市長 職員がしっかりと足腰を地に着け、施策が遂行されなければならぬ。クリアすべき問題が多い。クリアすべき問題が山積しており、絵を書く会合ではなく、実施に向



▲中継ターミナルゆめタウン前

施政方針を聞く

山木 施政方針全般の内

容は。

市長 19年度予算は「持続可能な江田島市実現のための財政基盤の確立」と「将来の夢、実現のための基盤づくりへの積極的投資」の2点に配慮し、



▲米軍岩国基地

7つの主要プロジェクトに基づく施策を選択と集中により取り組む予算であります。さらに徹底した事務・事業の見直しによる経費節減の実現やプライマリーバランスの黒字化を確保し、18年度予算額153億円余を上回る規模の積極予算としました。

定住促進の計画は！

登地 靖徳 議員



答 専任組織を設け対策

登地 今、全国の中山間地域で大きな課題となっているものがある。過疎化の進行で住民の生活機能を維持できない集落が急増している。本市も例外ではない。

高齢化や一次産品の安価継続による耕作地の放棄、イノシシ被害による農業の放棄・撤退、若年労働者を吸収できる就業場所の減少、広島・呉方面に通勤するための交通アクセスの悪化、教育施設等の問題、結婚適齢期層のシングルの増加、少子化、水産業の不振、地元商工業の衰退、その他島の魅力度の減少による都市部への人口の流出などで、過疎化地域は少ない住人を更に加速して減少することとなっています。

全国の合併市町村に共通する事項であるが行政の中心地域への一極集中が起こり、中心部から遠くなつた地域は、行政機能が薄れて過疎化の進行等マイナス要因は増幅されています。

自然環境の良さだけでは生活は厳しい。人は豊かさを求めて移動し、人

は魅力度の高い地域へ集積していく。定住促進に向かつて真剣に取り組まなくてはならないと考えられるが。

市長 市内の先進的な活動を行っている方々や、地域住民・各種団体代表者・民間事業者などと協

は魅力度の高い地域へ集積していく。定住促進に向けた真剣に取り組まなくてはならないと考えられます。

商工観光課に専任組織を設け、ロングステイ型観光促進事業による交流拡大施策と連携を図りながら対策を講じます。



▲農園つき住宅

小学校の通学校区変更は

野崎 剛睦 議員



答 保護者が学校を選ぶ！

野崎 市教委は、江南地区の児童を隣接地にある飛渡瀬小学校に通学するよう指定変更してはどうか。現状のままで同小学校は統合対象校となって、市の中心部に小学校が消えると、人口減少が加速化します。

教育長 市教委は、通学校の選択の弾力化を図っています。すなわち、江南の児童が飛渡瀬小学校へ希望すれば認めています。今は、まさに保護者が学校を選ぶ時代であります。

野崎 合併して新生江田島市になつたのだから、市教委自ら通学指定を変更すべきではないか。そうすればバス通学費の補助金も節約できて財政改革にもなります。

市長 市長は、もっとリーダーシップを取つてはどうか。

野崎 教育全般の責任は私が負うが、市長の役割は教育環境の施設整備であります。運用と教育行政は教育委員会に委ねる決まりになっています。

野崎 市内で利便性が良く、市の既存建物である江南保育園を「子育て支援センター」にしたらどうか。

市長 同センターの設置は、子育て家庭の多くから要望があります。平成19年度は既存施設の有効活用と交通の利便性を検討して、平成20年に設置する計画であります。

野崎 何ごとも早く行うことが行政マンの責務である。

野崎 江南保育園を同センターにしたらと聞いているが、その答弁がなさい。

市長 一つに目的をしづらく述べると、江南保育園を「子育て支援センター」として運営していくのが、その答弁がない。

福祉保健部長 江南地区の市民に相談したあとでないと、何とも申しあげられない。

山本 市総合計画では、誰もが安全で快適な生活環境のうちに、健康で安心して暮らすことができ、豊かな教育や文化を創造し、人として輝くことができるまちづくりが、大きな柱として示されています。これは、これまで同様行政が目指してきた人権を規定にしたまちづくりであり、今後のプロジェクト実現に大きな期待を抱かせるものである。7

市長 隣保館については、市民の福祉の向上や人権啓発のための交流の拠点として、地域に密着したコミュニティセンターとしての役割が大きく求められています。

多くの市民の要望にきめ細やかに対応し、高い人権意識に裏付けられた諸活動こそ、誰もが暮ら



▲江南保育園

答 全市的に取り組む
人権推進施策は
山本 一也 議員





林 今まで、数々の特産品を産出してきた江田島市の農業振興を、今後どのように考えておられるのか。また、市はどのような役割を果たしますか。

市長 本市の農業は、担い手の高齢化など多くの課題がある。現在『花き（卉）園芸産地 江田島』の農業活性化プロジェクトを作成中で、農業が産業として自立できるよう担い手の農地集積と経営基盤の強化、農業法人による新たな地域農業の仕組みづくり等であります。これを野菜・果樹部門へも拡大させます。

林 国の担い手育成政策に該当しない大勢の農業者対策は。

産業部長 市が進めているのは農業の法人化です。



▲荒廃化が進む農地

で、より多くの方に農業に参加して貰っています。
地産地消は、全国的に定着し、地域の特產品づくりや活性化に大きく

役立っています。当市の地産地消は、どのように考えていますか。

産業部長 わずかに小古江の交流促進センターと

海辺の新鮮市場で朝市のようにして取り扱っています。

市長 小用港ターミナルで商工会が中心になつて、地場産の農産物や魚貝類を直売する計画で、次に整備中の中町港でも実施したい。一過性ではなく、継続したいと思っています。

林 遊休農地解消対策として、牛の放牧事業を行って、かなりの予算を計上しているが、その費用対効果は。

市長 短期間での効果は望めない。その荒れた耕地が次の耕地として使えるのであれば、効果はあります。放牧地周辺は、イノシシはいなくなっています。長い目で見ていいたい。

答 活性化プロジェクトを作成中 林 久光 議員

しやすい地域づくりへの第一歩であると認識し、総合計画を目指す「協働のまちづくり」を、全部署・全職員が全市的な取り組みをつくりあげていきます。



貧困・格差は!

石下 洋子 議員

答 適宜・適切に対処



石下 貧困と格差が深刻な問題となっている。市は実態把握をしているか。又貧困と格差をなくするためにどう考えるか。

市長 本市レベルで、実態の把握は困難。生活保護世帯、納税者数を見る限り、大きな変化はない。国でも、最重要課題として議論されており、注視しながら適切に対処する。

福祉保健部長 母子加算額し、生活保護世帯の母子加算を廃止します。これに対する市の対策は。

胡子 海上自衛隊呉史料館【てつのくじら館】、朝鮮通信使400周年、N

観光事業

胡子 赤字事業での年間4・4ヶ月超のボーナス支給は【経営状況を考慮して支給】という条例に反する。一般会計から1億5千万円の繰出しに対する市民への説明は。

石下 日本の子どもの貧困率（注：平均所得の半分以下の世帯の率）は非常に高く、子どもの成長を阻むだけでなく、貧困が次世代に引き継がれることがあります。特に母子世帯の貧困率は高く、江田島市の扶養手当を受給する母子世帯の平均所得は79万円であります。

胡子 赤字事業での年間4・4ヶ月超のボーナス支給は【経営状況を考慮して支給】という条例に反する。一般会計から1億5千万円の繰出しに対する市民への説明は。

答 経営の合理化を進める

胡子 雅信 議員



答 経営の合理化を進める

交通船事業はどうする!

胡子 雅信 議員

胡子 赤字事業での年間4・4ヶ月超のボーナス支給は【経営状況を考慮して支給】という条例に反する。一般会計から1億5千万円の繰出しに対する市民への説明は。

胡子 赤字事業での年間4・4ヶ月超のボーナス支給は【経営状況を考慮して支給】という条例に反する。一般会計から1億5千万円の繰出しに対する市民への説明は。

胡子 退職者が増加するが、【退職手当債】を発行する予定があります。

胡子 退職者が増加するが、【退職手当債】を発行する予定があります。

- 退職者による給与総額減額分で対応します。退職手当債（借金）の発行は今のところ考えていない。
- 手当債（借金）の発行は今のところ考えていない。
- 生活航路対策事業について
- 生活航路対策事業について



▲海上自衛隊呉史料館
(てつのくじら館)



▲すくすくクラブ

石下 非常勤の特別職の報酬及び費用弁償額は年額いくらか。財政難、住民サービスの切り下げ、貧困の広がりを考慮して、減額を再検討すべきでは。

市長 報酬は、1億26

1万円。5千円の手当が支給されます。扶養手当については、来年度検討します。

石下 時給600～800円で働く市民はたくさんいる。会議の委員報酬（5800円）は高いと思います。減額の方向で再検討を。

23万円、費用弁償は3230万円。類似市などと比較して高いとは思わない。

閉校後の利用は

扇谷 照義 議員



答 地域と協議する

扇谷 昨年度は大須・秋月小学校・沖中学校が統合により閉校し、本年度も小用・津久茂・宮ノ原・沖小学校が統合により閉校となりました。今後、学校施設はどのように使用するのか。また、売却する考えはありますか。

教育長 市長部局と連携し、地域と跡地活用懇談会を開催します。その結果、区民会の運営による地域のコミュニティの場などとして利用をしています。目的外使用で民間に売却する場合は、国補助金や起債の返還義務があるので、その額を含めた売却になります。先進事例などを参考に検討します。

教育長 春夏冬の休み中に中山間部の学校と交流し、施設を利用する考えはあるか。

扇谷 校内の図書や備品は、地域の人が使用できるようにならないか。

教育長 必要であれば地域の方と協議します。

扇谷 本市は、合併により職員数が多く、近隣の職員のスリム化は

教育長 地域のみなさんの意見を聞いて、地域の活性化懇談会等開いてプランを作成します。

市長 行財政改革や定員適正化計画に沿って実施しています。県からの事務移譲による事務量も視野に入れ、市民サービスの低下につながらないよう適正化を図ります。



▲宮ノ原小学校閉校式

市職員を消防団へ

太刀掛 隼則 議員



答 検討課題である

太刀掛 「ごみの収集は直営（官）の46%、学校給

学校給食を民間へ

市長 地域の高齢化や過疎化が進むなかで、平日昼間の発生した災害に対応する団員の確保が困難であるなど、課題もある。

助役 平成18年度に消防団活性化検討委員会を設け一定の指向性を議論し、小規模な分団の統合・組織の強力化を図り、定年制を導入します。平成19・20年度には実施施策をまとめ、平成21年度には制度改正を予定しています。

市長 女性団員の入団促進と併せて自主防災組織の設定など災害対応能力の向上に取り組みたい。

教育長 民間委託については、各施設の委託業務内容を精査・整理し、よ

食は55%で運営出来ると、地方自治經營学会から発表されている。費用は約半分であり民間委託に踏み切るべきであります。

市長 民間委託の件は基本的には、効率のよい運営を図るべきであると、常に模索しています。

市長 地域の高齢化や過疎化が進むなかで、平日昼間の発生した災害に対応する団員の確保が困難であるなど、課題もある。

助役 平成18年度に消防団活性化検討委員会を設け一定の指向性を議論し、小規模な分団の統合・組織の強力化を図り、定年制を導入します。平成19・20年度には実施施策をまとめ、平成21年度には制度改正を予定しています。

市長 女性団員の入団促進と併せて自主防災組織の設定など災害対応能力の向上に取り組みたい。

太刀掛 「ごみの収集は直

による消防団への入団促進について」は、消防庁より各都道府県に通知されている。消防団の活性化のためにも、市長が方向を示し入団を呼びかけては。なお、女性団員も増員を。



▲江田島市消防団（消防出初式）

今定例会の傍聴者は4日間で26人おられました。傍聴者から江田島市の将来展望を心配される気持ちに答えるべく、我々議

議会広報
特別委員会か

私はこの度、初めて傍聴に訪れた。定刻通りに、一般質問が開始されたが、そこでまず思ったことは、傍聴する人が余りにも少ないことだ。私は、一日目の一般質問に訪れていない為、どれだけの人が傍聴したのかわからぬが、もっと多くの人に足を運んでもらいたい。家にいる主婦の方、春休み中の学生など、幅広く多くの市民に、自分た

ちの市政に関心を寄せて欲しい。私は、この島が大好きだ。ここには守りたいもの、大切な人たちがたくさんいる。厳しい市政だというのは重々承知。けれどその内情をどれ程の人が知り、関心を向けているのか。たかが傍聴、されど傍聴。この愛着あるふるさとに、もっと目を向けていたい。（能美町在住女性）

傍聴感想文

土木建築部長

現況、時



▲傷んだ生活道路

前田 行政サービスの後退、負担の増など市民は行財政改革の痛みをかなり堪えていると感じる。

市長 住宅地域周辺の生活道路も傷んだ個所もあちこちで見受けられ、水路や溝は割れたり、詰まるなど整備不十分な場所もあり、危険と感じる個所も見受けられます。

身辺の小規模な公共施設はその地域に住む人達にとっては生活に直結する施設で、補修改善は強く望んでいます。補修改善要望への対応はどのようになりますか。

市長 年々実施しているが予算にも限度があります。現況を見て必要の場合は予算補正をし、緊急度の高いものから実施しています。

前田 行政サービスの後退、負担の増など市民は行財政改革の痛みをかなり堪えていると感じる。

前田 平成19年度補修事業予算は大幅に減額になっています。補修については手法も検討するのか。

土木建築部長 公共施設の管理については、現地状況を見て、例えば自治会などで請けられないか

前田 集落地域の町なかでは、小売商店の閉店が続き、まさにシャッター通り街も少なくない現状であります。

市長 安全安心のまちづくりに江田島市交通計画を策定して歩行者の安全性の向上、交通の利便性などの交通環境を充実します。

モデル的に実施することも考えてていきます。

に感じますが、

ここ江田島市は、生活しづらい環境になつたよう



答 状況を見て実施

前田 鎮夫 議員

生活道路等の改修要望の対応は

市議駅伝大会に初出場!!



▲江田島市駅伝大会

市議会では選手有志を募り、2月18日に開催された第30回江田島市駅伝大会に「いのしし君」の愛称名で初出場しました。トップチームと30分以上の時間差がつきましたが、7区間を一人も棄権することなく完走しました。

た。後続にバトラーを従えて走ったので、根性で走りぬきました。大会後の反省会では、一つ上を目指して来年も出場することとで盛り上りました。ライバルの出場を待っています。

元気な江田島市を目指します

議会運営委員会・総務常任委員会

今回、議会運営委員会と総務常任委員会は合同で1月22日から24日まで、九州豊後方面の自治体とその周辺の元気なスポットを視察しました。

研修に行った自治体は大分県竹田市と福岡県うきは市です。両市とも江田島市と同規模の市で平成の大合併で誕生した新しい市です。

市庁舎にて合併後の財政状況、支所機能、庁舎建設、議会運営などについて研修をしました。研修会ではたくさんの質問が出て、真剣に議論しました。

(平成18年度)

	人口 (人)	職員数 (人) *	議員数 (人)	財政力指数	経常収支比率 (%)	公債費比率 (%)
竹田市	27,127	441	28	0.245	107.45	16.3
うきは市	33,787	252	18	0.389	82.1	7.4
江田島市	30,191	515	26	0.337	98.1	15.9

* 職員数は一般職のみ

議会の動き（平成19年1月～3月）					
1月					月
30日	25日	22日～24日	19日～11日・17日	9日	日
第2回議会全員協議会	庁舎建設検討等特別委員会	議会運営委員会・総務常任委員会	議会運営委員会・総務常任委員会	第1回議会全員協議会	議会広報特別委員会
市総合計画・基本計画、市国民保護計画	委員会の今後の進め方	先進地視察研修	議会だより第9号編集	市立保育園の統廃合	議会だより第9号編集
					主な審議内容



▲豊後高田市（昭和の町）



▲うきは市議会研修

産業建設常任委員会

江田島市の農・漁業は輸入農海産物の増加や從事者の高齢化、風評被害、価格低迷等により危機的な状況にあります。

何らかの好転の糸口がつかめればと、2月26・27日の日程で、大分県の魚の採卵・飼育施設と、農産物1.5次加工工場（玉ネギ、ニンジン、大根、ニンニクなどの農産物を原料とする、業務用冷凍野菜製造・業務用乾燥食品製造）の視察をした。

◆ 第二日目
くにみ農産加工有限会社

昭和56年第三セクターで設立され、創業以来、「現在の食生活は生活スタイルとともに

に日々変化している。健康志向の時代に合った安心、安全、自然のままの味にこだわり、契約栽培で育てた大地の恵みをいつぱい受けた旬の美味を、あらゆる食のシーンに対応して行く」をモットーに、生きいきとした活気のある加工場でした。視察した時は、玉ネギのフライ加工品やフライドガーリックを大量に生産していました。

大消費都市と遠く離れた大分県農業の、契約栽培による経営安定と雇用創出対策を垣間見ることができ、大変参考になりました。

◆ 第一日目
大分県漁業公社事業場

県・市町・水産関係団体出資で昭和46年に設立された公益法人です。国東事業場は、ヒラメ、マコガレイ、アユ、ガザミ、クルマエビ、ノリ等の採卵・陸上飼育を15名の職員で行っています。施設は古いがよく整っており、大分県内で放流・養殖される種苗のほとんど全てを生産し、県の漁業生産額350億円の水



▲ヒラメの陸上飼育を視察

3月												2月						
26日	22日	16日	14日・15日	12日・13日	9日	8日	6日	2日	28日	26日・27日	22日	20日	19日	14日・15日	13日			
文教厚生常任委員会	第1回市議会定例会最終日	議会運営委員会	総務常任委員会	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	議会運営委員会	第1回市議会定例会初日	第4回議会全員協議会	議会運営委員会	文教厚生常任委員会	総務常任委員会	議会運営委員会	市農業委員会委員の定数、予算の査定状況	企業会計特別委員会	交通船事業、国民宿舎事業			
市内環境施設現地視察	算可決	同意3件、発議1件、平成19年度14予	第1回市議会定例会（同意3件）	第1回市議会定例会（発議）	平成19年度産業建設関係予算審議	平成19年度文教厚生関係予算審議	平成19年度文教厚生関係予算審議	第1回市議会定例会（発議）	一般質問9人	一般質問3人	専決処分3件、議案15件、補正予算8件、施政方針、予算の委員会付託14件	第1回市議会定例会（一般質問）	第1回市議会定例会（一般質問）	議会だより第10号掲載内容検討	先進地視察研修	第1回市議会定例会（議案、一般質問）	消防団の活性化	産資源増殖に大きく貢献しています。



3月25日（大柿中学校）



2月4日 江田島市カキ祭り（江田島町小用）



3月25日 小用港旅客ターミナル供用開始（江田島町小用）

まちがど フォト スケッチ



2月18日 江田島市駅伝大会（能美町中町）



3月4日 沖美町かきカキマラソン（ゴール）

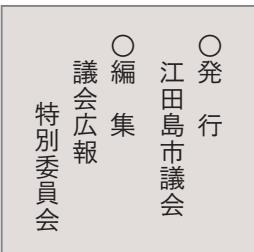
委員 委員 委員 委員 委員
委員長 議会広報特別委員会
野崎剛 畠前田 鎮夫 胡子雅 信 登地靖 徳 住岡淳一
山根啓志

皆様のご意見お待ちしております。（前田鎮夫）
これからも全委員努めています。

議会広報も多くの方に
気軽に読んで頂けるよう、
今回号から編集に少し工夫をしてみました。
これがまた、時として激流に揺れる心がますますあります。

議会広報も多くの方に
世相の流水が穏やかであることを願つてやみませ
んが、時として激流に揺れる心がますますあります。
は水、船を沈めるものが、時として激流に揺れておりま
す。船を浮かべておられます。「船を浮かべておられ
るは、是々非々ご意見は真摯に受け止め各々活動して
います。省みて襟を正し、是々非々ご意見は真摯に受け止め各々活動しておられます。

編集後記



次の定例会は6月です。お気軽に傍聴にお越しください。

※問い合わせ先 江田島市議会事務局

〒737-2193

広島県江田島市江田島町中央一丁目1番1号（江田島支所3階）

TEL (0823) 42-6310 FAX (0823) 42-6315